

魔女さまのガハハ笑いをBGMに

社会保険労務士 山口由里子

「ガハハハハ。」

笑い声が教室に響く。笑い声の主は、金髪の魔女こと、宮袋季美さん。魔女さまの笑い声は、まるで豪快な喝。私にあるネガティブなものを吹き飛ばし、元気を注入してくれる。

魔女さまは「NPO法人ふらっと」の理事長。富山型デイサービスを行っている。

富山型デイサービスとは、赤ちゃんからお年寄りまで、障害の有無に関わらず、誰もが一緒に身近な地域でデイサービスを受けられる場所。

「NPO法人ふらっと」のホームページには、「誰でも利用できる、温か〜て楽しい施設！」とある。

魔女さまは、「柄にもなく社会福祉事業に手を染めてしまった。」とおっしゃる。

いえいえ、魔女さまでなければ、魔女さまだからこそ、こんなにも弾けている魅力的な施設になったのだと思う。

魔女さまは、「なりたかったのはアーティスト！」とおっしゃる。

講義を終えて汗をふいているお姿は、ライブを終えたミュージシャンのよう。きっと、いつも、こんな風に全力投球で利用者さんと向き合っていらっしゃるのかな。

しんどかった頃に魔女さまが身につけていたヒョウ柄が、私には戦闘服のように見えた。

抱えているものがある人生になって、初めて気づく。

「あなたに寄り添っていますよ。」という対応が心地良いのは最初だけ。そろそろ前に進もう、それでも生きて行こうと決心した時には、その決心を鈍らせてしまう。

「かわいそうに。」という表情は同情なのかな。知っている？同情って上から目線に感じるってことを。

それでも生きて行こうと決心した人に元気をくれるのは、魔女さまのガハハ笑いなのかもしれない。

魔女さまのガハハ笑いをBGMにしている“ふらっと”の皆さんは幸せ者だ。